

紙本着色兎道朝暾図 青木木米筆

指定区分	国指定重要文化財(絵画)
読みかた	しほんちゃくしよくうじちょうとんず あおきもくべいひつ
所在地	倉敷市
指定年月日	昭和27年3月29日
解説	<p>兎道(うじ)は「宇治」に通じることから、この図は京都の宇治あたりの朝景を描いたものと思われる。構図の中心となる宇治川の流れは、ごく淡い藍を二筋引いて表し、山はすべて尖頭形に描かれている。全体的に淡彩の使用は控えめで、墨のにじみがより効果的に朝霧を表現している。彩色は木米独特の藍色と黄褐色の色合いを出し、宇治の自然を見事に描き出している。山水画の形式的画法にとらわれない、木米の円熟した画境を表した傑作と評されている。</p>
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	